

ブル・ベア型投資信託（レバレッジ投資信託）に関する確認書

「ブル・ベア型投資信託」の価格変動リスクは非常に大きく、指標の動き次第では大幅な損失を被る恐れがあります。また、長期保有するほど「ブル・ベア型投資信託」の値動きの特性により基準価額が押し下げられる効果から大きな影響を受けます。そのため、本商品は長期保有且つ安定的な運用を希望されるお客様には不向きな商品ともいえます。

本確認書は、上記の商品特性をご理解いただくとともに、特に以下の点をご確認いただくための書面です。

1. 私は、本商品に関する投資対象資産の価格変動リスク及び本商品が目標とするレバレッジの倍率（以下「目標倍率」といいます。）について、目論見書を熟読し十分理解しました。
2. 私は、本商品について、特に次に掲げる事項について、十分理解しました。

① 価格変動リスクの大きさ

「ブル型投資信託」は、連動を目指す指標（株価指数や為替相場、商品相場など、以下「基準指標」といいます。）が上昇した際には概ね目標倍率程度の幅で基準価額が上昇し、基準指標が下落した際には概ね目標倍率程度の幅で基準価額が下落します。また、「ベア型投資信託」は、基準指標が上昇した際には概ね目標倍率程度の幅で基準価額が下落し、基準指標が下落した際には概ね目標倍率程度の幅で上昇します。

② 指標への日々の連動を目指すことから生じる値動きの特性

「ブル・ベア型投資信託」に分類される各ファンドが連動を目指す指標が上昇・下落を繰り返した場合には、時間の経過とともにファンドの基準価額を押し下げる要因となり、指標の水準がファンド購入時の水準に回復しても、基準価額が購入時の水準に回復しない場合があります。

③ 先物取引に投資するファンドの値動きの特性

「ブル・ベア型投資信託」に分類される各ファンドのうち、株価指数先物や債券先物、商品先物などの先物取引を行うことにより指標への連動を目指すファンドについては、定期的に先物取引を満期間近のもの（「期近物」といいます。）から満期まで時間のあるもの（「期先物」といいます。）へ乗換える際に、売買手数料等の取引コストがファンドの基準価額を押し下げることがあります。また、定期的に先物取引を乗換える際に、期近物と期先物の価格差も下記の関係でファンドの基準価額を押し下げることがあります。

イ) 期近物の価格 < 期先物の価格 → 指標上昇で値上りするファンドの下落要因
（「ブル型」投資信託として、安い期近物を転売して高い期先物を買建てるため）

ロ) 期近物の価格 > 期先物の価格 → 指標下落で値上りするファンドの下落要因
（「ベア型」投資信託として、高い期近物を買戻して安い期先物を売建てるため）

私は、上記1～2を踏まえ、私の判断と責任においてブル・ベア型投資信託の取引を行うことをここに確認いたします。

(2015年4月24日)